



集合住宅環境配慮型リノベーション検討協議会(通称エコリノ協議会)とは
 2015年8月に発足した組織で、多摩ニュータウン地域で活動する都市計画・建築設計施工・造園・デザイナーなどのまちづくりの専門家、地域のコミュニティ活動の中心を担うメンバーを擁した「まち育て集団」です。市民の皆さまと一緒に、団地やマンションの改善のお手伝いをします。

<http://www.tama-nt.jp>

エコリノシンポジウム エコロジー+リノベーションであなたの住まいの活用を考える

あなたの団地・マンションの未来を語ろう

団地やマンションといった分譲型集合住宅の未来に向けては、少子高齢化の問題をはじめとする課題が山積していますが、その未来を創るためには、居住者自らが課題に立ち向かい、取り組んでいく必要があります。プログラムでは、共に暮らす住宅の第一人者の丁先生の講演の後、市内の団地やマンションへの環境に配慮した改善提案を実施する、多摩市の「集合住宅環境配慮型リノベーションモデル事業」で2017年度に取り組んだ三つのモデル管理組合への提案を事例とした成果発表、そして、管理組合が取り組むべきテーマごとに、会場にお越しいただいた皆さんと専門のファシリテーターが団地やマンションの未来を共に語り合います。

開催日 2018年2月10日(土) PM2:00 ~ 5:30
会場 多摩市役所西会議室棟 第1会議室 定員60名 (先着順・直接会場にお越しください)

第一部 PM2:00 開会 (1:30 開場)

●**基調講演**
「高経年団地・マンションの今日・未来」
 講師：丁 志映
 千葉大学都市環境システム学科助教



丁 志映 (チョン ション)
 「都市空間の再生」研究室主催
 現代都市における居住環境の課題や問題を解決していく為に、国内外の都市構造・制度の分析や新たな住まいのリーサーを通して、近未来の家族像と住まい像を予測し、これらに関連する先進的な研究および実践を行っています。国内外の住民セクター+民間セクター+公共機関と連携して、新たな集住やまちづくり、関連法制・管理・運営等の不動産学分野まで広げて、『都市空間の再生』のための「代案居住」&「代案システム」&「代案制度」などに力を入れています。

●**モデル管理組合への提案報告**
 多摩市の「集合住宅環境配慮型リノベーションモデル事業」で2017年度に取り組んだ成果発表です。

第二部 PM4:00 開始 終了5:30

●**ワークショップ 5つのテーマ**

共に住む

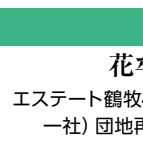
「高齢者と子育て世帯の共生」「高齢者のコレクティブ住宅」「団地に住み続けること」など団地やマンションの未来について議論します。



丁 志映

健康に住む

「エステート鶴牧-4・5 団地」356戸を屋根と外壁の断熱改修と開口部の断熱化を一挙に成し遂げた功労者の一人。建物の耐久性の向上とともに健康長寿を実現しました。



花牟禮 幸隆
 エステート鶴牧4・5修繕委員
 一社) 団地再生支援協会

健全な電気

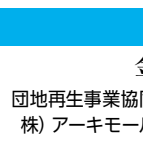
多摩市の学校などの屋根で13箇所の太陽光発電を行っている「多摩電力合同会社」。団地でも再生可能エネルギーを生かして環境貢献と資産価値アップを実現できます。



大木 貞嗣
 多摩電力合同会社社執行社員

リノベで蘇生

家族が変われば間取りも替わる。あなたの住まいをリノベーションすると新しい人生が始まります。リノベーションの魅力を余すことなく伝え聞きます。



金丸 典弘
 団地再生事業協同組合理事長
 株)アーキモール代表取締役

合意形成に向けて

建替えなどを決定する場合、一番の難関は組合員の合意形成です。コミュニティ醸成など共通の課題やそれぞれの固有の問題などを一緒に考えましょう。



加藤 輝雄
 元諏訪2丁目住宅マンション
 建替組合理事長

第三部 PM6時より、会場近くで懇親会を予定しています。ぜひエコリノメンバーとの交流、他の団地の方との情報交換にいらしてください。会場未定 会費：4,000円(予定)

主催：集合住宅環境配慮型リノベーション検討協議会(通称：エコリノ協議会)
共催：多摩市
後援：一般財団法人ハウジングアンドコミュニティ財団、一般社団法人多摩循環型エネルギー協会、多摩マンション管理士会、多摩ニュータウン・まちづくり専門家会議、多摩市建設協同組合
問合せ：☎090(3965)0178 秋元(午前9時~午後4時)